

優秀な経営者こそ謙虚で、素直である

京セラの創業者・稲盛和夫さんは、「成功の方程式」を「**考え方×熱意×能力**」で表しています。

この式のポイントは、「**熱意**」と「**能力**」は「**0 から 100**」なのに対し、「**考え方**」は「**マイナス 100 からプラス 100**」までであるということです。つまり、いくら熱意や能力が高くても、プラス店になる考え方、つまり「**正しい考え方**」をもたない限り**成功することはない**ということです。

それでは、「**正しい考え方**」をどうやって学ばいいのでしょうか。私は、私のセミナーに参加されるお客さまなどに、**古くから多くの人が正しいと信じてきたことを学んでください**とお願いしています。具体的には、儒教や仏教、あるいはキリスト教などの考え方です。

しかし、「論語」や「老子」といった古典を読み、多くの人が正しいと信じてきた考え方を学び、「正しい考え方」を身に付けたのに、経営がうまくいかないと嘆く経営者もいます。その大半は、「正しい考え方」を身に付けたのではなく、**身に付けたつもりになっていただけではない**でしょうか。

いろいろな本を読んで正しい考えを理解したつもりでも、**実は自分の理解の範囲内でしか理解していない、間違っ理解している**、もっと言えば、**自分に都合の良いように解釈している**だけかもしれません。あるいは、ある程度は理解しているものの、**結果が出るまで実践していない**、などうまくいかない理由はさまざまです。**本当に正しい考え方を身に付ければ、成功しているはず**です。

経営者は、「**正しい考え方**」を身に付けたかどうかを**謙虚に判断し**、まだ足りないと思ったら素直にほかの人に教を請うたり（その人が正しいことを言うとは限りませんが）、何度も古典を読み直したり、**正しい考え方を身に付ける努力を続けなければ**なりません。

こうした**謙虚さ、素直さ**は、経営の神様と呼ばれた松下幸之助さんが最も大切にしたことです。幸之助さんは、松下電器（現パナソニック）を世界的な企業に育て、誰からも敬われる存在になっても常に「**素直**」であることを願っていたといえます。朝起きると神棚に向かって「今日一日素直でありますように」と祈り、寝る前に素直であったかどうか反省する毎日を送っていたそうです。

そして 80 代半ばにさしかかったとき、自分にはまだ素直さが足りないと思い至り、自らを戒めるために『素直な心になるために』という本を作りました。そこまでした幸之助さんの自己評価は「**ようやく素直さの“初段”になれたかな**」でした。

結果が悪かったときは「鏡」を見よ

会社を成長させよう、事業を成功させようという熱意は十分にある。自社が属する業界の仕組みや商品・サービス、基本的な財務、戦略、マーケティング、ヒューマンリソースマネジメントなどの勉強もして経営の技術的な能力も高めた。この経営者は「**熱意×能力**」では高い点数が取れるでしょうが、**考え方はどうでしょう**。

正しい考え方ができなったり、間違っているのに正しいと思い込んでいたりするようでは、考え方がマイナスになり、「**熱意×能力**」の点数が高い分、より悪い方向へ向かう危険すらあります。だからこそ、**自分が正しいと思っていることが実は正しくないのではないかと疑う「謙虚さ」と、正しくないことを率直に認める「素直さ」**が必要なのです。

私の愛読書でもある『ビジョナリーカンパニー（2）』（ジム・コリンズ著）に、「**成功を収めたときには窓の外を見て、（自分以外に）成功をもたらした要因を見つけ出す。結果が悪かったときには鏡を見て、自分に責任があると考える**」という一文があります。その通りだと思います。

東北から元気発進！！ワクワク“夢実現”プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

謙虚さのない、素直さのない経営者ほど、うまくいかないときに窓の外を見ます。「景気が悪い」「競争相手が悪かった」「部下の能力が足りない」などと他人のせいにして、うまくくと鏡を見て自画自賛する。失敗を素直に反省せず、成功すると傲慢になる。これでは、いずれ致命的な失敗をするでしょう。

自分自身はどちらのタイプなのか。謙虚に、素直に、考えてみてください。

DIAMOND online 小宮コンサルタンツ代表 小宮一慶より



大人のマナー※手土産編

取引先や訪問先に手土産を渡す機会も多いと思います。せっかく渡すなら、相手に喜んでもらえるように手土産を選び、渡したいものです。そのために最低限必要なマナーを紹介します。

意外と悩む...渡し方について

取引先を訪問した際には、挨拶のあと仕事の話に入る前に応接室や会議室でお渡しします。反対に、会食の場合は食事中邪魔にならないように後で渡すので、気を付けましょう。

手土産を渡す・受け取るのは、最も地位が高い人同士になります。渡すときは基本的に袋から取り出しますが、相手がおのあと持って帰る必要がある場合はその限りではありません。

選び方にセンスと気遣いを見せて

・送る相手の周りの人のことまで考える

会社を訪問する際は、社員の皆さんに配れるようなものに、会食後に渡す際はおうちでご家族と楽しんでいただけるように、と、渡す相手の周囲にいる人のことも配慮して選びましょう。

センスを感じる手土産の選び方

・相手に合わせて選ぶだけでなく、季節に合ったお菓子も大変喜ばれます。手堅く定番のものでも構いませんが、期間限定ショップのお菓子など、物珍しいものにする、よりセンスのいい手土産になりますよ。

いざという時に役立つ即戦力マナー集より

LET'S 農業 ナプロアースでは、今年から農業を始めることを決定しました。

近所の方にご好意で畑を貸していただき念願の農業デビューです。とはいえ皆素人。

色々教えていただきながら、野菜を育てていきます。農業の先生（ダッシュ村の明雄的な存在）

と打合せをしましたが、聞いたことのない単語が沢山で頭がチンプンカンプンです。

ご覧の通り、今は沢山の草が生い茂っていますので、まずは土作りからはじめなければならないようです。

作物によって必要な肥料が異なること、連作をしない方が良いことなどを教わり、農業って奥が深いなあ～と感じました。

こんな話をすると、意外なことに若い社員さんたちも喜んでくれて、「●●を作りたい」、「花も植えたい」など楽しい会話がどんどん広がっていきます。失敗を恐れず、チャレンジしていきます。今年は土作りなので、畑の隅にナスやピーマンを植えてみます。（果たして夏に実るのか??）

農園の名前は本骨（ほんこつ）農園です。毎月、進化の過程を報告していきます。



東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します